

# “就職に必要なのは事前準備と前向きさ”

プラカス タパさん (ネパール)



2 日本に留学してくる留学生は主にアジアからで、アジアが 92.7%を占めています。数年前まで多かった中国、韓国、台湾からの留学生の数が減って、最近ではネパールやベトナムからの留学生が増えています。2016 年にはネパール人が留学生数の 3 位になりました。

日本は、少子化の問題を抱え、企業はグローバルに展開し、これからオリンピックを開催するにあたり、人材不足の状況です。一方、ネパール人留学生達は日本の大学や専門学校卒業後の将来に悩んでいます。ネパール人留学生が短期的にしか物事を考えられないことにその原因があります。準備不足、情報収集不足、我慢力が不足していることが問題です。

今、日本にいるネパール人留学生はアルバイトばかりして、短期的にお金を稼ぐ事を優先に考えています。本来あるべき姿はそうではなく、日本語学校、専門学校、大学卒業後のことを長期的に考えなければなりません。

ネパール人留学生が学生のうちにやるべきことは、以下の通りです。

- ・自分が選んだ専門学校や大学できちんと勉強を続けて、知識を得る事が一番大事です。学校はビザを取得するための手段ではなくあくまで自分の将来の道を作る場です。
- ・どのようなところでアルバイトするか、見極めることが大事です。アルバイトは日本語や社会の事を勉強出来るようなところであるべきです。飲食店のキッチン、運送業や肉体労働のような人と接する機会が限られているアルバイトよりも、お客様と直接接するようなアルバイトをすると自分の能力を磨くことができます。
- ・日本社会を理解できるようなインターンシップ、サークル活動、ホームステイ、また余裕があればボランティア活動に参加した方が良いです。
- ・日本語能力試験 1 級または 2 級、TOEIC900 点または 800 点、自動車運転免許、パソコン (MS WORD, EXCEL, PPT) 等の資格を、学校を卒業するまでに取得することが望ましいです。
- ・学校を卒業する 1 年前から積極的に就職活動をする事が重要です。

今、日本は人材を必要としています。ネパール人留学生にはそのポテンシャルがあります。事前準備をしっかりと、前向きに活動すれば就職することは不可能ではないです。